

教育に関する県民意識調査結果

●調査目的：この調査は、徳島県教育委員会が次期「徳島県教育振興計画」を策定するにあたり、教育に関する県民意識を広く把握するとともに、それらを振興計画に反映させることを目的として実施したものです。

●調査対象：県民（e-モニター）200名

●調査期間：令和8年7月9日（木）～7月22日（水）

●回答状況：

調査対象者数（人）	回答者数（人）	回答率
200	166	83%

問1

（徳島を担う子どもたちに必要な資質・能力）

2040年代にかけて、「少子高齢化による生産年齢人口（15～64歳人口）の減少」や「地方の過疎化」が一層深刻さを増すことが予想されています。また、グローバル化やデジタル技術の進展等による社会情勢の急激な変化により、「将来予測の困難さ」が増しているとの指摘もあります。

そこで、2040年代以降の徳島を担う子どもたちには、どのような資質や能力が必要だと考えますか。

次の中から3つ選んでください。

「自らの夢や希望の実現に向かって主体的に学び、行動する姿勢」が最も多く、次いで「他者への共感や思いやりの心」が必要であるとする回答が多く見られる。



問2

（幼稚園・こども園における教育で力を入れること）

幼稚園やこども園等の教育において、これからどのようなことに力を入れればよいと思いますか。

次の中から3つ選んでください。

「自分の気持ちを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりしようとする意欲や態度を育てる」ことが6割を超えて最も多く、次いで「子どもが自ら興味をもって遊び、主体的に活動できる環境を充実する」ことも6割近くにのぼっている。

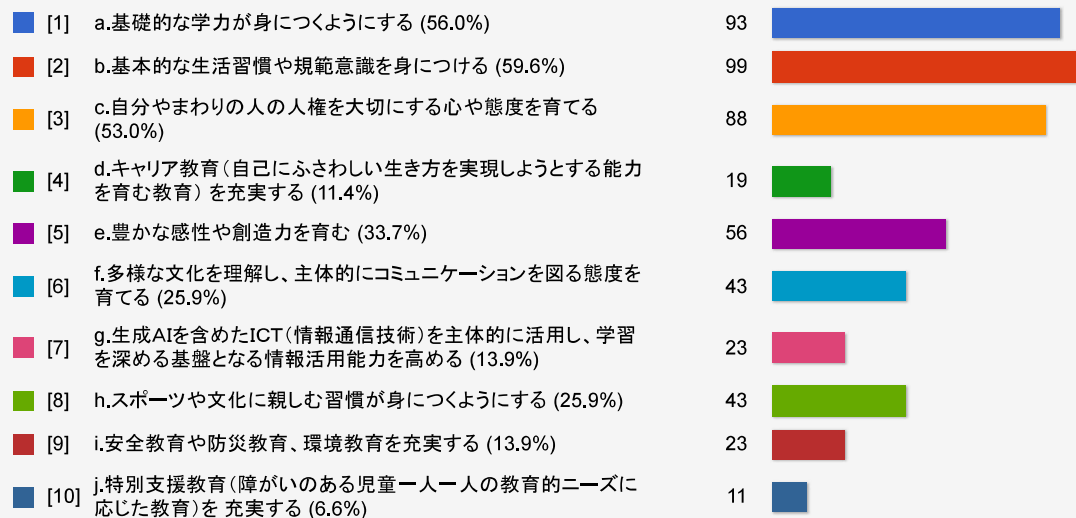


問3

(小学校における教育で力を入れること)

小学校の教育において、これからどのようなことに力を入れればよいと思いますか。
次の中から3つ選んでください。

「基本的な生活習慣や規範意識を身につける」ことが約6割と最も多く、次いで「基礎的な学力が身につくようにする」こと、「自分やまわりの人の人権を大切にする心や態度を育てる」ことは、5割を超えている。



問4

(中学校における教育で力を入れること)

中学校の教育において、これからどのようなことに力を入れればよいと思いますか。
次の中から3つ選んでください。

「自分やまわりの人の人権を大切にする心や態度を育てる」ことと「基礎的な学力が身につくようにする」ことがともに5割を超えて多く、次いで「基本的な生活習慣や規範意識を身につける」こと、「豊かな感性や創造力を育む」が続いている。

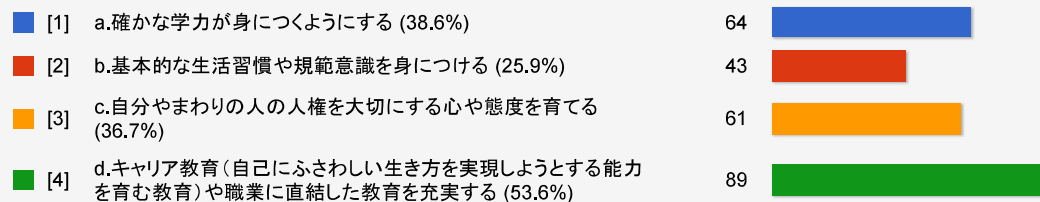


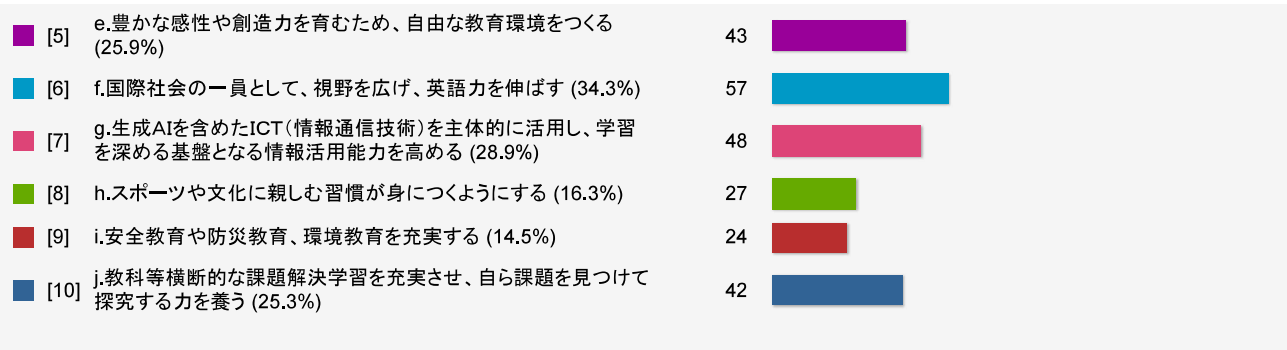
問5

(高等学校における教育で力を入れること)

高等学校の教育において、これからどのようなことに力を入れればよいと思いますか。
次の中から3つ選んでください。

「キャリア教育や職業に直結した教育を充実する」ことが5割を超えて最も多く、次いで「確かな学力が身につくようにする」こと、「自分やまわりの人の人権を大切にする心や態度を育てる」が続いている。



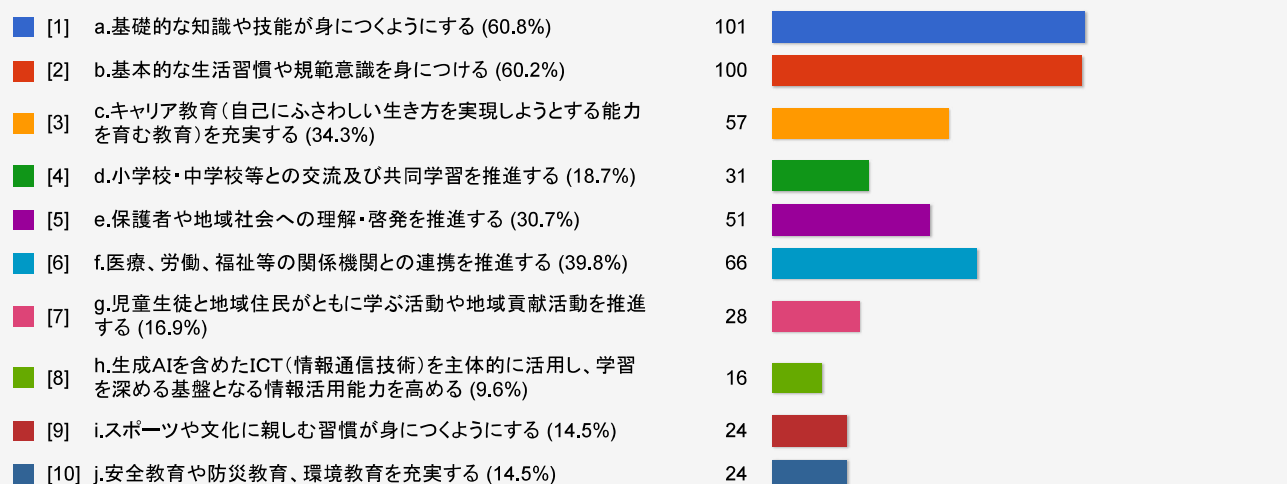


問6

(特別支援学校における教育で力を入れること)

特別支援学校の教育において、これからどのようなことに力を入れればよいと思いますか。次の中から3つ選んでください。

「基礎的な知識や技能が身につくようにする」と「基本的な生活習慣や規範意識を身につける」ことがともに6割を超えて多く、次いで「医療、労働、福祉等の関係機関との連携を推進する」が続いている。



問7

(理数教育)

県では、わが国全体や県の科学技術力を向上させていくため、理数系の知識が豊富な人材の育成が重要だと考えています。理数系教科への興味を育てるために、どのような教育が重視されるべきだと思いますか。次の中から3つ選んでください。

「小学生の頃から科学の面白さに触れる体験ができるようなイベントを実施する」ことが6割を超えて最も多く、次いで「算数・数学の授業において、個々の生徒の理解度に応じた授業の提供すること」や「プログラミングやデータ活用など、デジタル技術を用いた授業の充実させる」ことを求める声が多く見られる。



問8

(外国語[英語]教育・国際教育)

県では、多文化共生社会への対応や外国人観光客の増加、輸出促進等の地域の国際化に伴い、本県の未来を拓く豊かな国際感覚を持った人材の育成が重要だと考えています。

これまでの外国語教育や国際交流の取組を引き継ぎ、さらに発展させるために、学校教育においてどのような取組が重視されるべきだと思いますか。次の中から3つ選んでください。

「小学校での外国語教育を充実させ、中学校へ円滑につなぐコミュニケーションの基礎力を育てる」ことが5割を超えて最も多く、次いで「語彙・文法の定着」や「身近な国際交流の機会提供」が続いている。



問9

(防災教育)

学校での防災教育において、これからどのようなことに力を入れればよいと思いますか。

次の中から3つ選んでください。

「災害が発生してすぐ取るべき行動」が約6割と最も多く、次いで「地震などによって起こる災害(津波・火災等)の内容」や「災害に備えて、日頃から気をつけておくべきこと」を挙げる方も4割を超えている。



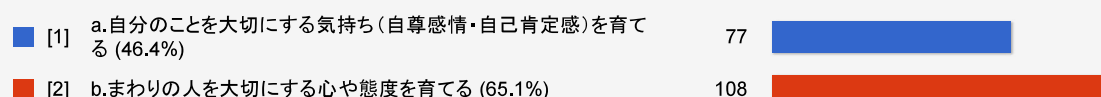
問10

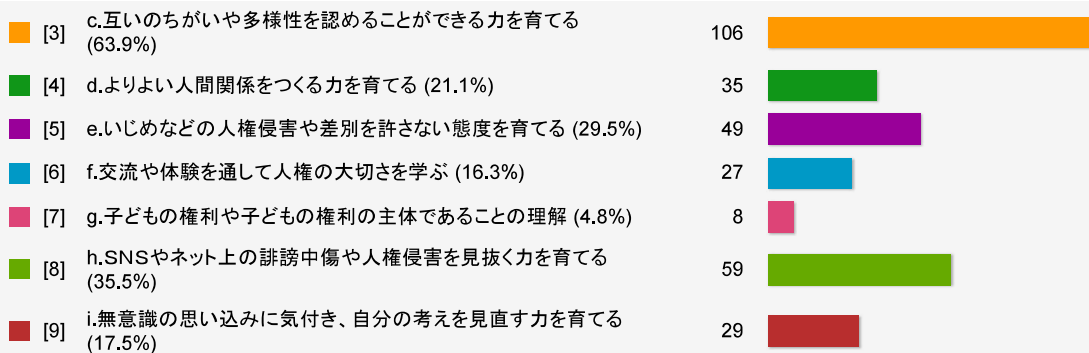
(人権教育)

学校での人権教育において、これからどのようなことに力を入れればよいと思いますか。

次の中から3つ選んでください。

「まわりの人を大切にする心や態度を育てる」と「互いのちがいや多様性を認めることができる力を育てる」ことがともに6割を超えて多く、次いで「自分のことを大切にする気持ちを育てる」ことも5割近くにのぼっている。



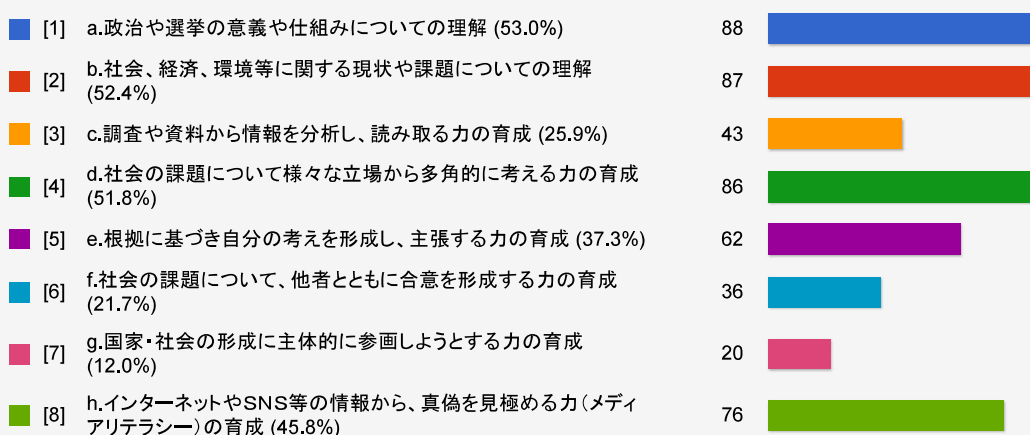


問11

(主権者教育)

学校での主権者教育において、これからどのようなことに力を入れればよいと思いますか。
次の中から3つ選んでください。

「政治や選挙の意義や仕組みの理解」、「社会、経済、環境等の現状や課題の理解」、「社会課題を多角的に考える力の育成」の3項目がいずれも5割を超えて高くなっている。



問12

(生涯学習・社会教育)

生涯学習社会の実現のために、自分にとってどのようなことを学び、身につける必要があると思いますか。
次の中から3つ選んでください。

「自分の趣味や生きがいづくり」や「教養の向上や資格取得などの自己啓発」を必要とする回答がともに5割を超えて多く見られる。

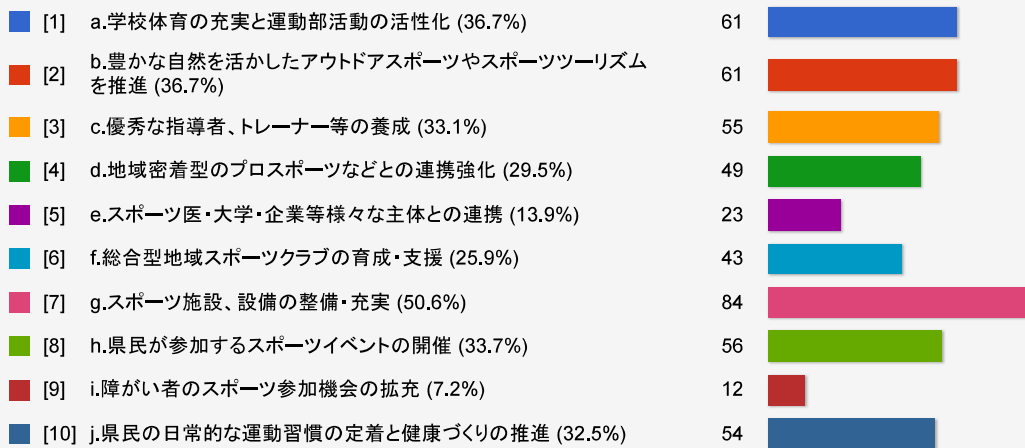


問13

(スポーツ振興)

徳島県のスポーツ振興のために、どのようなことに力を入れればよいと思いますか。
次の中から3つ選んでください。

「スポーツ施設、設備の整備・充実」が5割を超えて最も多く、次いで「学校体育の充実と運動部活動の活性化」や「豊かな自然を活かしたアウトドアスポーツやスポーツツーリズムの推進」が続いている。



問14

(文化振興)

徳島県の文化振興のためにどのようなことに力を入れればよいと思いますか。
次の中から3つ選んでください。

「地域や郷土の歴史・文化等についての理解を深める学校教育の充実」が約4割と最も多く、次いで「優れた芸術公演の鑑賞機会の提供」や「県民が参加できる文化イベントの開催」を期待する声が多く見られる。



問15

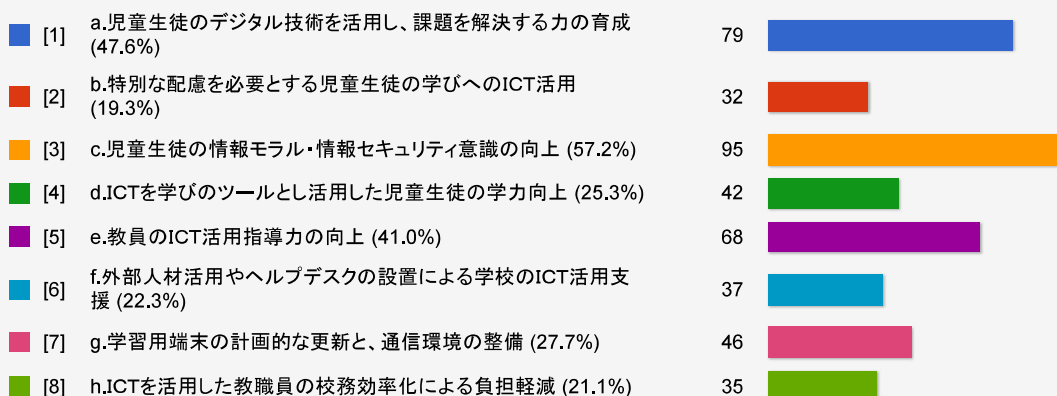
(情報教育・教育DX)

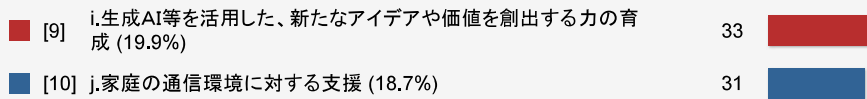
徳島県の教育DX(デジタルトランスフォーメーション)をさらに加速させ、子どもたちの学びを豊かにしていくために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
次の中から3つ選んでください。

【DXとは】

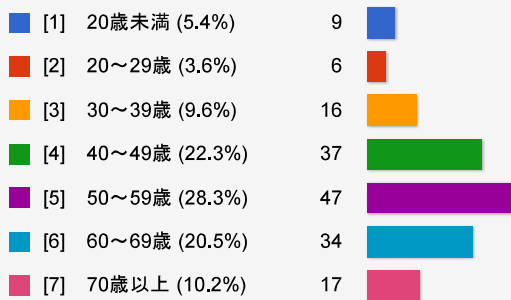
デジタル技術やデータを活用し、学校のあり方や学び・指導をより良く変革していくこと。

「児童生徒の情報モラル・情報セキュリティ意識の向上」が5割を超えて最も多く、次いで「児童生徒のデジタル技術を活用し、課題を解決する力の育成」や「教員のICT活用指導力の向上」が続いている。





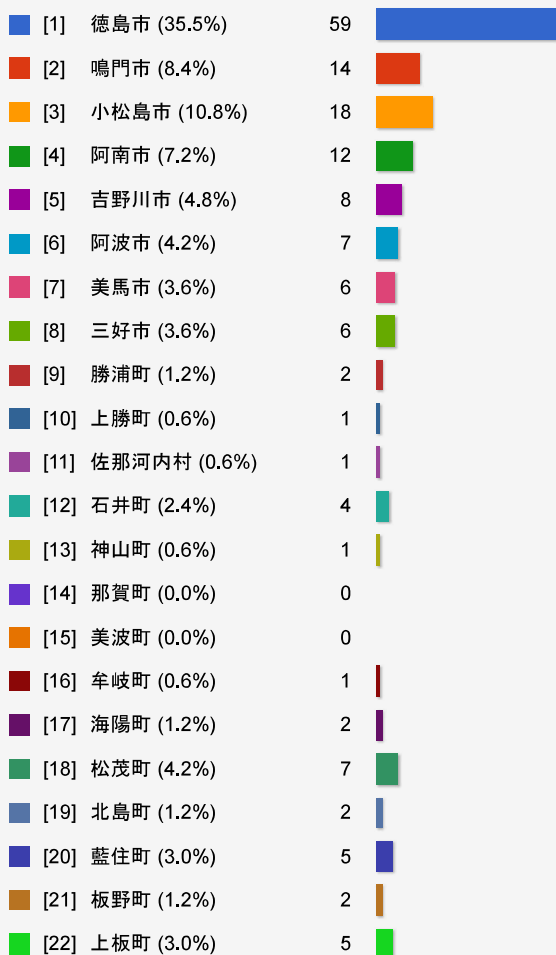
年齢別



職業別



住所別



■ [23] つるぎ町 (1.2%)	2	■
■ [24] 東みよし町 (0.6%)	1	■



--	--